

# KOCHI 2023 ROTARY 2024 CLUB SINCE 1937



世界に希望を生み出そう  
2023-24年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3587回 2024年4月23日 2024年5月7日発行

### ● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。皆さんご承知のように、今日は旭食品の竹内克之さんのご葬儀です。私も昨夜、お通夜に伺いましたが、竹内さんはとても幅広いお付き合いのある方でしたので、メンバーの中でも今日のご葬儀に参列される方が多いようです。克之さんは、1987年7月から2015年6月まで高知RCに在籍されていました。改めて、心よりご冥福をお祈りしたいと思います。



昨晩から、3日間情報集会を開催しています。私の会長の任期もあと2カ月ですが、私は親睦や交流の回数をコロナ前に戻したいという思いがあり、期の終わりになって情報集会を開催しています。難しい議論をするのではなく、テーマも「ロータリークラブについて何でも語りましょう」としています。どうか気軽に、今日、明日と参加いただけたらと

思います。

私は、気分転換をするのに、どこかへフラッと出かけることがよくありますが、最近はお参りを兼ねて、神社やお寺に行くことが増えました。先日、思い立って、以前から行こうと思っていた和歌山の熊野三山に行ってきました。大阪から電車で紀州勝浦へ、そこで1泊。次の日は、レンタカーで那智大社、青岸渡寺をお参りして熊野本宮大社、最後に熊野速玉大社でご祈願をしてもらって、新宮から大阪へ帰りました。

電車だと4時間以上かかりますので、高知より遠いなど。しかも、本数も少なく非常に遠くて不便だなどという感覚がありますが、外国のインバウンドの方がとても多くいました。岡山の私の定宿も6割ぐらいが外国の方ですので、インバウンドは日本各地で広がりを見せています。そう考えると、高知のインバウンド観光もまだまだ開発の余地があるのではないかと思ったことでした。



### ■ 本日のプログラム [ 5月7日 ]

情報集会報告①

会 長	中 澤 陽 一
副 会 長	中 島 和 代
幹 事	細 田 長 司
副 幹 事	入 交 英 太
会報責任者	小 林 達 司

## ● ローターリーソング「四つのテスト」

## ● 新入会員紹介



### ・井上和美氏挨拶

私の出身は静岡、現在の自宅は大阪、高知には単身赴任で来ています。毎年、自分の趣味以外のことを何か一つやろうと決めていて、去年はサントリーの1万人の大合唱にチャレンジしました。今年は、年頭にお遍路をしようと決めた中で、今回の高知への異動でめぐり合わせのようなものを感じています。まだ、右も左も分からない状態ですので、皆さまにご指導いただきながら、微力ながらこの地にお役に立てることを模索してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

## ● 幹事報告

- ・臨時理事会の議事録をボックスに入れていきますのでご一読ください。
- ・台湾大地震への募金箱を作成しました。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。締切は5月20日です。
- ・来週は休会です。5月7日、14日は情報集会の発表です。

## ● ゲストスピーチ

### 地域と共に成長する：広告会社の使命と展望

(株)ユーエスケー 営業本部 営業部長 田中 拓生 氏

私は高知市で、1977年7月に生まれました。高知西高校、大阪経済大学経営学部を卒業後、青年海外協力隊に参加、ドミニカ共和国で音楽の教師として2年間バイオリンを教えていました。ドミニカではカナダのロータリークラブから援助されたバイオリンと管楽器を使つての活動で、カナダRC、ドミニカRCとの会にも何度か参加しました。ドミニカから帰国後、2004年4月、ユーエスケーに入社、今年3月で丸20年が経ちました。



弊社は総合広告代理店として、テレビ、ラジオ、新聞及び広告に関わる制作、イベント事業、商品開発等々、企業のマーケティングのプロモーションに関わることを全般的にお手伝いしている会社です。マスコミ4媒体を主とする媒体営業が50%、イベント事業が30%、印刷・その他、制作が20%弱。

弊社の企業理念は、1. 広告を通して地域経済の活性化、地域の文化の向上の発展に寄与する。2. 明確なターゲットコミュニケーションを提案する。3. クライアント様と消費者をつなぐ信頼性の高い人材育成を目指す。4. テレビ高知グループの一員として、グループ企業との連携の

と、提案力のアップを目指す。

これを受けて、私自身、仕事をする上で「超ローカル」、つまり地域の課題は地元で解決。力足らずの部分ではできる人に協力を仰ぎ、それを地域の力に変えていくことをコンセプトとしています。高知大学の次世代地域創造センターの大崎先生によると、高知は経済構造が脆弱のため、観光消費による波及効果の域外流出が多い。経済の域内循環を高める取り組みが必要との提案があります。広告業界においても、その取り組みが非常に重要で、そのためにも地元広告会社の責任は重大であると考えています。

では、どうすれば地域の広告会社が経済の域内の循環に貢献できるのか。それは、ひとえに広告会社と媒体会社がともに知恵を出し合つて、クライアント会社の課題解決を成し遂げることが重要です。昨今、テレビがあまり見られていないという話を耳にします。2023年の博報堂の調査では、10代から60代の男女の1週間当たりのメディアとの接触時間は、テレビは135.4分、携帯電話・スマホは151.6分。若干負けてはいますが、そんなに少ないわけではない。2014年を境にスマホ、携帯電話が飛躍的に伸びています。その割には反比例してテレビが減っているわけではなく、横ばいあるいは微減という形です。

次にテレビの広告は効果がなくなっているのか。2022年7月の日経新聞に、テレビCMはYouTube動画広告より2.1倍認知されやすく、1.8倍購買に繋がりがやすかったという記事が掲載されています。次に、電通が毎年発表している年間広告費の推移によると、2019年と2023年の差異は、



総広告費、2019年6兆9,381億円が2023年には7兆3,167億円で3,786億円増加しています。その中で、インターネット広告は1兆2,282億円の増、テレビCMは1,265億円の減。つまり、メディア接触時間がネットに取られたわけでもなく、テレビ広告は確かに減ってはいるものの、インターネット広告に取って代わられたわけでもないということです。

では、テレビ広告の役割はというと、情報提供と商品紹介、ブランドイメージの構築、消費行動の促進、視聴者とのコミュニケーション。ブランドイメージの構築に関して、例えばサニーマートさんの新工場のテレビプロモーションの場合、難しいことではなく、子どもの笑顔で安心安全を伝えようと小学生の工場見学を企画。CM用に編集して放映しました。テレビが信頼性が高いのは、厳格な編集方針、事実関係のプロセスを持ち公正かつ客観的に情報を提供する。CMにおいても、編成スタッフがチェック、間違いや不適切な表現を指摘し、その上で放送をする正しい情報だからです。

2019年、“とさのさと”が今の地にオープンしました。そのときのミッションが、JAと民間のスーパーマーケットという一見競合する両店舗の同時オープン施策ということで、それぞれの店が地域に提供するサービスの意義をしっかりと発信したいということでした。そこで提案をしたのが、オープン前日の新聞両面見開きの広告。片面にオープニングのイベントの告知、片面はオープンに尽力したトップマネジメント4名による対談記事として“とさのさと”がどういう機能を果たして町とどういう関係を築いていくのかを掲載しました。

イベント事業としては一昨年からスタートした中央公園での「クリスマスマーケット」の企画運営、5月のゴールデンウィークに開催される「こうち春花まつり」など。その他、式典イベントやロータリーの地区大会もお手伝いしています。

イベント以外でも梶原町の歴史民俗資料館（梶原千百年物語りという資料館）の企画、整理のお手伝いをさせていただきました。

913年、京都から藤原経高が梶原に入国して、津野の姓に変えてから1100年になるのを記念して2012年の春、当時の町長から、町民が未来に繋いでいきたい梶原の歴史、誇りを形にした資料館、町民みんなの意見を聞いて、思い、

声を形にした資料館を造ってほしいという依頼を受けました。それからオープンまでの10カ月。町民の皆さんとのワークショップ、町内の取材、資料集め、制作企画と進めました。その中で、ワークショップに参加した皆さんから出てきたのは、昭和37年、38年と2年続けて豪雪・豪雨に見舞われた。それを一致団結して切り抜けた。その後、必要なのは国道だということで国交省に何度も陳情に行き、今は国道を4本通している。そういった梶原町の決断力と実行力だとおっしゃっていて、資料館のコンセプトは決断と実行としました。

また、地産地消・外商課の関西プロモーション事業も、弊社がJRグループと共同事業体で、昨年からの受託して、高知のことはユエスケーが、大阪のことはJRさんと、お互いの持ち味を生かしたもので提案をしています。円広志さんを採用した動画、インターネット、ホームページ、地元でのプレス発表会、インターネット広告、屋外広報等々。

今は、高知県のイベントやプロモーション事業の多くが、県外の大手会社に発注されている現状があります。これはひとえに、高知県の広告会社の力不足が原因だと深く反省しています。一方で地元の課題は地元で解決するためには、県内外の協力会社と手を組み、提案力の向上に努めて地域とともに成長していけることが、地域経済の発展のためには重要なことだと考えています。これからも引き続き、知恵を絞りチャレンジしながら、日々、表現方法を用いて情報発信を正確に、より効果的に実行できるように研究していきます。

アメリカの元副大統領 アル・ゴア氏のカンヌ広告祭でのメッセージです。「広告業界の皆さんが今まで積み上げ、磨き上げてきたアイデアを生み出す力、それを形にする力、コミュニケーションの力を広告だけでなく、これからは世界のために、地球のために、人類のために使ってほしい」

私たち、高知の広告会社も仕事を通して、高知の経済発展の一助となり、地域課題の解決のお役に立てる、このこそ使命だと思っています。今後とも、地元の広告会社、メディアをご愛顧いただき、厳しくご指導もいただきますようお願いいたします。

◇ 例 会 変 更 ◇

高知中央RC	5月 9日	子どもの日に振替の為休会(城)	高知南RC	5月16日	地区大会に振替(阪)
高知南RC	6月13日	日時計例会(阪)	高知北RC	6月17日	年度末家族合同夜間例会(三)
高知ロイヤルRC	6月18日	最終夜間例会(高)	高知中央RC	6月20日	着港夜間例会(城)
高知西RC	6月21日	最終夜間例会(三)	高知北RC	6月24日	ロータリー休日(三)
高知RC	6月25日	あじさい夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	6月25日	ロータリー休日(高)
高知東RC	6月26日	最終夜間例会(阪)	高知南RC	6月27日	最終夜間例会(阪)
高知中央RC	6月27日	ロータリー休日(城)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (高)…高知プリンスホテル

 **ニコニコ箱** 【敬称略】

細田 長司 妻の誕生日に素晴らしい観葉植物の鉢をご手配いただきありがとうございました。お礼にニコニコします。  
 杉本美美子 月初の例会で誕生日を祝っていただきありがとうございました。70代最後の年になりました。毎日を楽しく元気に過ごしていきたいと思っています。



◇ 出 席 率 ◇

	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
4月23日	(-5)86	47	27	7	66%
4月11日	(-10)84	35	14	25	81%

● 累計額 [4月23日現在]

ニコニコ箱	690,300円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	197,502円	ポリオ募金	441,000円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [5月14日]

情報集会報告②

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目3-39 高知放送南館8階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>